

チーム身延中

令和5年度 身延中 学校だより

発行者:校長 渡邊 史

NO.3 令和5年6月8日

木々の緑が色濃くなる時期となりました。5月はPTA総会や授業参観、家庭訪問、町内一斉引き渡し訓練、PTA理事会や専門部会、また部活動の大会への応援等、保護者の皆様にはお忙しい中をたくさんのご協力をいただきありがとうございます。6月は、PTAの関係では学校開放週間や土曜日実施の授業参観(学年学級懇談会)を予定しております。生徒たちも日々の学習を重ねながら、部活動や様々な学校行事にも前向きに取り組み、また一つたくましく成長していると感じています。これからも学校・家庭が連絡を密に行い、一緒に前に進みたいと考えております。よろしくお願いいたします。

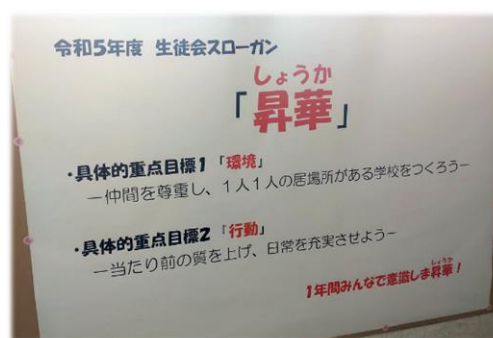
令和5年度生徒会スローガン「昇華」

学年・学級通信にもありましたが、5月26日(金)には、今年度第1回目の生徒総会が行われました。そこで私は、全校生徒の「生徒会活動に対する思いや願いの方向性」について話しました。私たちは一人ひとりみんな違う人であり、それぞれが身延中や身延中生徒会に対する思いや願いを持っています。同様に、各クラスや委員会・部活動においても、それぞれの目標や頑張りたいことがあるはずです。生徒会活動に求めることがズレていたり、時として考え方が反対と感じたりすることがあっても当然だと思います。しかし、すべての人が目指している「その先にあるもの」は一緒に、「よりよい身延中学校・充実した身延中生徒会活動」のはずなのです。

大切なことは、それぞれの思いや願いの方向性・ベクトルの向きを可能な限り一致させ、同じ方向を見て進むことです。そのために、執行部は「これまでの課題や自分たちの状況を分析し、必要なスローガン・行事・取り組みを提案すること」「企画・運営の中で適切な軌道修正を加えること」などが求められ、生徒会員の皆さんは「提案されたことを受け止め、理解し、意見をしっかりと伝え、執行部を助け、みんなで決めたことに前向きに参加すること」が大切だと思います。その第一歩がこの生徒総会だったのです。

執行部からは、これまでの伝統の上にさらに一段階自分たちをレベルアップさせたいという願いを元に、「昇華」というスローガンとそれを達成するための重点目標が提案されました。全体のことをよく考えた目標であり、大切な視点がたくさん含まれていたと感じました。全校からは「賛成意見」もたくさん出されましたが、「質問」や「要望意見」、「呼びかけ意見」が出された他、具体的目標に対する「修正意見」が提案され、たくさんの討議が行われました。その際、修正案と執行部案についてよく考えていました。単に意見を対立させるのではなく、素晴らしかったのは、どちらも「これからの身延中に思いをめぐらせていた」ことでした。最終的には、スローガンも含め、執行部の提案がすべて承認されました。

翌週には、もう廊下に掲示が貼られていました。スローガンや具体的目標を具現化し、より実効的な取り組みを創り上げていくのはこれからです。そのためには全校のみなさんの知恵と力が必要です。執行部の願いと全生徒会員の思いを重ね、これからも同じ方向を見据えた生徒会活動が展開することを楽しみにしています。



各部の活躍

4月の地区選手権大会以降、5月は各都府県で県選手権大会に挑んできました。5月14日(日)には野球、27日(土)にはバドミントン・バレーボールの県大会が開催され、各部とも熱戦を展開しました。なかなか上位に進出することはできませんでしたが、各部とも総体に向けた課題が明らかになったり、今後のモチベーションアップに繋がったりする経験となりました。また、個人で取り組んでいる空手・体操競技で大会に参加した生徒もいます。地区総合体育大会は6月15日(木)・17日(土)に実施されます。応援をよろしくお願いいたします。



■県選手権大会

野球	VS玉幡中	1-3で惜敗
男子バドミントン	シングルス	3年 佐野太陽(ベスト8)
女子バドミントン	ダブルス	3年 望月晶翔・望月香莉愛ペア(ベスト8)
バレーボール	VS甲西中	0-2で惜敗
空手	団体組手, 個人形・組手出場	
体操	個人鉄棒第1位, 個人あん馬第1位 3年 橋爪大知	



「新聞学習」始めました

今、私たちが生きるこの時代は「予測困難な社会」と言われ、子どもたちには「どのような状況にあっても、自ら考えて、判断して、行動できるようになること」が求められています。

身延中学校では、数年前から週に1回、月曜日の朝読書の時間に「新聞学習・NIE(Newspaper In Education)」を行ってきました。これは、「書かれていることを正しく読み取り、そのことに対して自分なりの考えを持つこと」を目的に行うもので、社会で起きている様々なことやいろいろな情報に関心を持って、「広く社会に目を向けるきっかけにすること」も目指しています。今年度はスタートが少し遅くなりましたが、6月よりこの新聞学習を始めました。第1回目の内容は「学校でのチャット GPTの利用」に関するものでした。チャット GPTは、入力した質問に人工知能 AI が文章で回答をしてくれ、様々な場面での導入が進んでいます。生徒たちからは学校での利用について、「分からないこととか AI が詳しく説明してくれると思うから、理解が早くなっていいと思う。」や、「まず自分の考えを書いてから、チャット GPT に依頼して比べてみればよいと思う。」等の考えが出されていました。これからも、いろいろなテーマについて考えていきましょう。



表彰等

■身延町スポーツ協会奨励賞

(令和4年度に活躍した団体・個人に贈られる表彰)

個人	空手	伊藤千叶
団体	軟式野球	身延中学校野球部

■山梨県中学軟式野球「山梨クラブ」選抜

男子	遠藤鉄心(主将)・渡辺拓真
女子	中村未侑

自転車安全利用推進校

令和5年度、身延中学校は南部警察署より「自転車安全利用推進校」に指定されました。5月15日(月)には、南部警察署の萩原健署長が身延中を訪問され、委嘱式が行われ、生徒会長の若林伸之介さんに指定書が手渡されました。

